



## 【取組6-2】日本語学習支援者向けブラッシュアップ研修

運営受託: (公財)横浜市国際交流協会

テーマ	日本語ボランティアブラッシュアップ講座 地域日本語教室での学びを考えよう！ ～地域日本語教室だからこそできること～
講師	長嶺倫子氏(横浜国立大学非常勤講師)
日時・場所	日時: 第1回2026年1月30日(金) 14:00～16:00 第2回2026年2月 6日(金) 14:00～16:00 場所: 横浜国際協力センター6階
対象	横浜市内で日本語学習支援を行っている人
参加人数	参加人数27人(のべ50人)

## 【事業概要・趣旨】

## 趣旨

日本語学習支援者にスキルアップの機会を提供する。多文化共生のための日本語支援についての方法を学ぶとともに、所属教室を超えた意見交換の場としても活用する。

## 事業概要

本講座では、地域日本語教室に多様な背景を持つ人々が参加している現状を踏まえ、グループ学習の実践を体験的に行った。活動の工夫や進め方を共有しながら、参加者同士が意見交換を行い、それぞれの教室で活かすことの出来る実践例について学び合った。

## 【目的・目標】

## 目的

日本語学習者が地域で安心して暮らし、人と人とのつながりを広げながら主体的に生活していけるよう、その支えとなる日本語支援の在り方について理解を深めることを目的とした。

## 目標

グループ学習の実践を通して、地域日本語教室の役割や良さを改めて整理、共有し、そこで得た気づきや学びを各受講者が自身の教室活動に具体的に活かしていけるようにすることを目標とした。



## 【取組6-2】日本語学習支援者向けブラッシュアップ研修

運営受託：(公財)横浜市国際交流協会



## 【実施した事業プログラム内容】

## &lt;第1回&gt; テーマ「地域日本語教室の魅力を話そう！」

- ・受講者がそれぞれの教室での活動の取り組みについて共有し、その中で感じている課題や工夫している点について意見交換を行った。また、「理想の日本語教室」についても話し合い、今後の活動の方向性を考える機会とした。
- ・YOKE日本語教室の活動事例を動画で視聴し、その工夫や特徴について学んだ。その後、意見交換を行い、コミュニケーションが広がる教室活動の在り方について検討した。

## &lt;第2回&gt; テーマ「グループ学習で、コミュニケーションが広がる教室活動を試してみよう！」

- ・地域日本語教室の支援者から、当初はテキストを使った活動が中心だったが、コミュニケーションを重視した活動へと転換していった経緯についての事例を聞いた。
- ・コミュニケーションを大切にした教室活動の体験を試みた。(写真を見て話す)



## 【成果】

- ・地域日本語教室は、日本語学校とは異なる役割を持っていること、そして学習者にとって、何が大切か、どのような教室であれば継続して通うことができるのかを、考えるきっかけとなった。
- ・経験が浅い日本語ボランティアは、日頃の自分の活動に不安や疑問を抱くことも多いが、今回の講座を通して、地域日本語教室は、人と人がつながる場であることを再認識できた。
- ・受講者が、日本語の教え方に自信がなくても、コミュニケーションを大切にすることが重要であることを学び、今後の活動への自信につながった。

## 【参加者の声】

もっと楽に日本語クラスをやってもいいのだと思った。

外国人の人vs日本語を話す日本人としてではなく、人と人として接していきたい。

## 【課題や今後に向けての改善点】

本講座を通して、「地域日本語教室だからこそできること」という視点から、教室の意義や役割を改めて考えることができた。言葉を人と人をつなぐものとしてとらえるという考え方は、地域日本語教室の在り方を見つめ直す機会となった。今後は、この考え方を特別な取り組みではなく、日々の活動の中に少しずつ取り入れる視点を研修で取り入れていきたい。また、受講者同士が実践を持ち寄り、事例共有や意見交換を重ねることで、それぞれの教室での実践が広がり深まっていくことを目指していきたい。そして、地域日本語教室のあり方や活動の意義を発信していきたい。